

D カフェ

認知症の人が社会とつながる居場所づくりを目的として、「Dカフェ」は誕生しました。

Dカフェとは、町田市内で開催している認知症カフェの総称で、認知症の人やその家族、支援者、地域住民などが気軽に集まって交流や情報交換をする場のことです。2020年4月現在、市内にはNPO法人や社会福祉法人などが主催するDカフェが31か所あります。

さらに、町田市主催のDカフェとして、幅広い世代が利用するコーヒーチェーン店の協力により、市内の9店舗で毎月開催しています。認知症の人やその家族がより行きやすく、社会との継続したつながりを持ってもらうことを目的としています。また、



『Dカフェ』ロゴマーク
認知症を意味する
Dementiaの頭文字
をとっています。

認知症に普段関わりのない地域住民が、初めて認知症を知り、関心を持つ効果もあります。

Dカフェに関する情報は、ポータルサイト「まちだDマップ」に掲載しています。または、お近くの高齢者支援センター・あんしん相談室にお問い合わせください。ぜひ、お近くのDカフェを探してみてください。

町田市 Dカフェ



まちだDマップ
<https://www.dementia-friendly-machida.org/>



D ブックス



認知症と診断された直後の人やそのご家族への情報発信を目的に、市内にある複数の書店・図書館等で「Dブックス」を実施しています。

Dブックスとは、認知症のことを知りたい、学びたいと考えている方々に対し、認知症に関連する様々な本を集めた特設コーナーを設置することで、本が探しやすい、また、本を通して認知症に対する正しい理解を促進するということが目的としています。

認知症に関連する本は、認知症の症状などを分かりやすくまとめたものや、認知症の人やその家族などが書いたエッセイ等、認知症について学ぶだけでなく、認知症の人を理解するための一助となるものなど、多岐に渡ります。

また、市内では認知症の人などが書いたエッセイを読み、認知症の人の気持ちを理解し、感じたことを語り合う読書会が、地域の自主グループにより行われています。



まちだDサミット

町田市では、2018年度に「まちだDサミット」を初開催しました。

そこでは、認知症の人にやさしいまちのあるべき姿を表した「16のまちだアイ・ステートメント」の実現に向けて様々な分野でまちづくりに先進的に取り組んでいる方が一堂に会し、「認知症の人にやさしいまちづくり」のはじめかた」をテーマとして、これからまちづくりに取り組もうと考えている方が活動を始めるきっかけとすることができるように、すでに実践している取組を紹介するとともに、認知症の人と一緒にまちづくりの在り方について議論しました。

また、2019年度には「認知症の人にやさしいまちづくり」のすすめかた」をテーマに「まちだDサミット2」を開催し、認知症の人の生活に密着し



たオリジナルドキュメントムービーを制作・上映するとともに、認知症の人の視点から、暮らしの様々な場面における現在の町田市の姿をとらえ、これからのすすめ方について認知症の人と一緒に議論しました。

このイベントは、地域の様々な方や多くのボランティアの方の協力があり、実現したものです。今後も町田市では、認知症の人やその家族、市民、地域の皆さんと一緒に「認知症とともに生きるまちづくり」を進めていきます。